

## 改訂に伴いランクが変更になる抗菌性物質とその理由

食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて（平成 18 年 4 月 13 日食品安全委員会決定）の改正については、令和 6 年 12 月 4 日に開催された第 56 回薬剤耐性菌に関するワーキンググループにおいて審議結果（案）がとりまとめられた。現在、審議結果（案）について幅広く国民に意見・情報を募っているところであり、その後食品安全委員会に報告予定である。今回の改正に伴いにランクが変更になった抗菌性物質とその理由は以下のとおり。

抗菌性物質又は系統名	変更内容	変更理由
シデロフォアセファロスポリン系 (セフィデロコル)	I に追加	2023 年以降新たに人用治療薬として承認された抗菌性物質。 セフィデロコルは、MBL <sup>1</sup> 産生 CPE による感染症において、現存する唯一の単剤で治療可能な β-ラクタム系抗菌薬であり、他剤が利用できる場合には、その使用は極力控えるべきとされており（参照 1）、非常に限られた治療薬であると考えられるため。 なお、セフィデロコルは、WHO AWaRe 分類において「その他のセファロスポリン系」、WHO 人用抗菌薬の重要度ランク付け（第 7 版）において「シデロフォアセファロスポリン系」に分類されており、細菌の鉄取り込み機構を利用した独自の菌体内輸送機序を有していることから、セフィデロコルが属するシデロフォアセファロスポリン系を新たな系統として追記する。（参照 2～4）
ニトロイミダゾール系	Ⅲ→Ⅱに変更	<i>Clostridioides difficile</i> 感染症に対する限られた治療薬として WHO 人用抗菌薬の重要度ランク付け（第 7 版）で重要度がラ

<sup>1</sup> メタロ-β-ラクタマーゼ (metallo-β-lactamase: MBL)

		<p>ランクアップしたが（参照 3）、国内でも同じ状況であると考えられるため、ランクⅡに変更する。</p>
--	--	---

（参照文献）

- 参照 1 : 抗微生物薬適正使用の手引き 第三版 別冊（厚生労働省, 2023）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001169114.pdf>
- 参照 2 : AWaRe classification of antibiotics for evaluation and monitoring of use, 2023（WHO, 2023）  
<https://www.who.int/publications/i/item/WHO-MHP-HPS-EML-2023.04>
- 参照 3 : WHO List of Medically Important Antimicrobials（WHO, 2024）  
<https://www.who.int/news/item/08-02-2024-who-medically-important-antimicrobial-list-2024>
- 参照 4 : 新規シデロフォアセファロスポリン系抗菌薬セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物（フェトロージャ®点滴静注用 1 g）の薬理学的特性及び臨床試験成績（山野ら, 日本薬理学雑誌, 2024, 159 巻, 5 号, p. 331-340）  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/fpj/159/5/159\\_24029/html/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/fpj/159/5/159_24029/html/-char/ja)